

その他の食料品製造業におけるコンベアを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	19~ 20	当社野菜処理室で、スライサー（幅：140cm、高さ：157cm、奥行：60cm）内部の食材を押させる部分が操作した通りに下りてこなかったため、その調整をしていた際に、本来はベルトコンベア（コンベアの端から刃まで：35cm、幅：30cm、*スイッチを入れて食材を乗せると稼働）の電源を切って確認するところを、電源を切らずに左手をスライサー内部に入れ調整をしていたため、左肘がベルトコンベアに触れ、稼働してしまいそのまま巻き込まれて左手中指先端切断、左手薬指先を切創してしまった。	58	300 ~ 499
1	18~ 19	第一工場内惣付室フローアにおいて、寿司新ベルトコンベアで商品の流す作業を終えて歩いていた時に、声をかけられ振り向きざまに、左足を水で濡れた床に滑らせ転倒し、頭部右側を打ち、右手首をひねった。	55	100 ~ 299
2	1~2	第二工場作業場内において、包装機搬送チェーン清掃中、清掃に使用していたウエスが搬送チェーンとローラーに巻き込まれ左手指を裂傷、靭帯損傷した。	21	100 ~ 299
3	9~10	機内食盛り付けに使用するベルトコンベアの清掃のため、ベルトコンベアのスイッチを入れた際、すでにベルトコンベア最後部でベルト回転部分の清掃を行っていた当該パート社員の右手親指付け根部分が回転部に巻き込まれ、関節を骨折した。	58	300 ~ 499
3	11~12	食品工場1階包装室大袋Aラインで、印字検査装置の異常警報により印字状態の確認及び警報アラームのリセット作業をし、充填包装機ステージに戻りライン停止作業をしていた。その際、充填機前コンベアに足を取られ転倒し、定間隔プレスコンベアまで運ばれ仰向けの状態で挟まれた。	45	100 ~ 299

4	10～ 11	5号機（煎茶詰）で作業中にバケットコンベアーが詰まり、電源を切る決まりになっていたが、電源を切るのを忘れてしまいコンベアーに左手を挟まれた。	52	30 ～ 49
4	8～9	学校給食センター1階炊飯室で、炊飯釜を洗浄するため、洗浄機のコンベアに炊飯釜をのせる作業をしていたところ、コンベアに炊飯釜がずれてのったため直そうとしたところ、洗浄機と高温の炊飯釜に左腕を挟まれ熱傷した。	38	30 ～ 49
4	9～ 10	工場内で、真空後の製品がベルトコンベアーで移動中、コンベアーのベルトが内側のロールから外れていたため直そうとして指を入れたところ、機械を停止せずに行ったため間に挟まれけがをした。	41	30 ～ 49
5	14～ 15	下膳作業区域でしゃもじ・スプーンの洗浄作業をしている時、コンベア食器洗浄機の出口にしゃもじが引っ掛かり、停止ボタンを押した後取り除こうと、左手でコンベアを広げ、しゃもじを取ったところ、コンベアが動き出し左手親指が巻き込まれた。	47	1～ 9
5	5～6	原料目視検査室2階で、コンベア清掃時にブラシがローラーに巻き込まれ、ブラシを持っていた左手の親指と人差し指を挟まれ、握っていたブラシの柄で親指を受傷した。コンベア清掃時は、スイッチを切り清掃しなければならないが、動作中に清掃を行い、ブラシごと親指と人差し指を巻き込んだ。	47	50 ～ 99
5	9～ 10	胡瓜選果機の製品ラインで製品を待っている途中、誤って右手がローラーとベルトの間に挟まり、右手の甲を損傷した。	22	50 ～ 99
5	22～ 23	トレーが流れている機械の途中で、トレーが詰まったのでとっさに手を入れて取り除き際にバーに挟まってしまった。	19	100 ～ 299
6	3～4	工場内において、炊飯機から炊き上がったご飯釜をほぐし機へ流すためのレーン上で、釜が止まってしまったため、レーンの奥から釜を押したところ、レーン上で止まっていた別の釜が落下した。落下した釜を引き上げて、釜から飛び散ったご飯を片付けていたところ、その作業に気づいていない別の同僚が、同じように釜を奥から押したため、別の釜が落下し、その際に右腕と右指に釜が接触し負傷した。	69	30 ～ 49

7	13~14	盛付作業場にて、商品切り替え時にコンベア下のローラー部分について具材残渣をブラシによる清掃作業中に履いていたビニール手袋が巻き込まれ、左腕がローラーに挟まり被災した。被災者は事故当日の入社であった。	49	100 ~ 299
7	14~15	当社工場内オムレツ製造ラインのコンベアから流れてくるオムレツを反転させる金具の部分に不具合が発生したため、電源スイッチを切らないまま補修、反転金具の部品に右手小指を挟まれ負傷する。	51	50 ~ 99
7	3~4	店舗盛込み室で、ベルトコンベアを折りたたみ、ベルト部分を緩ませて裏側に付着した汚れの拭き取り作業をしていたところ、折りたたみ方が中途半端だったため、拭き取りによりベルトを引っ張ったために完全な状態に折りたたまれてしまい、右手中指を挟んでしまったものである。	70	100 ~ 299
7	9~10	選果場内1次選別台の稼働調整を行っている際、腐敗コンベア付近で異音が出たため、確認に行ったところ、腐敗コンベアとプーリーの間に誤って右手を添えてしまい、挟まり負傷した。	41	30 ~ 49
9	14~15	第一工場内コンベアーベルト清掃時、稼働しながら清掃中、最後にある粉碎機に右手を誤って挟み込み中指を受傷した。翌朝、朝礼時に注意事項で清掃時はベルト稼働しないことを指導してるが、今回注意義務違反によるもの、粉碎機には安全カバーがあり、カバーを上げずに清掃したことが原因と考える。	68	50 ~ 99
9	12~13	生葉業集荷場でトラックの荷台にて生葉積み込み作業中に、移動式のコンベアから茶葉を左右に振り分けながら降ろしていたところ、後方の安全確認が不十分で、コンベアと天井部分の鉄骨の間に側頭部が挟まれ、圧迫された状態で動けなくなり、レスキュー隊により救助されたが、両耳に挫創を負った。	60	10 ~ 29
10	12~13	工場2階包装室にて栗きんとん生産中に、商品を流すベルトコンベアに付着した餡子を除去する際、ダスターが巻き込まれベルトコンベアに右腕が巻き込まれ骨折した。	25	100 ~ 299
10	14~15	ミニコンベアーベルト前に置いてあった台車を取ろうとした際、バランスを崩し、コンベアーベルトに体があたり、コンベアーベルトが転倒し、左手薬指を強打した。	49	100 ~ 299

10	8~9	2セット包装冷却出口振り分けバーコンベアー駆動部進行方向左側において、動いているバーコンベアー駆動部 sprocket とチェーンの間に左手人差し指が巻き込まれ、爪部分までを切断した。機械が動いている中に清掃のため持っていたウェス（不織布製）が機械に巻き込まれ、左手人差し指も一緒に巻き込まれた。	35	100 ~ 299
11	12~ 13	加工場ラインにて、午前の作業終了時にコンベア下側を清掃していたところ、別の作業者が清掃中の作業者に気付かず停止していたコンベアを作動させ急に回転速度を上げたため、右手全体をローラ部に巻き込まれ右手を負傷してしまった。	39	500 ~ 999
11	17~ 18	工場1棟（日配惣菜棟）1Fのバット洗浄機ライン（洗浄機前部）でバットが機械に挟まり、事故者が挟まったバットを取り除こうとした際に（機械を停止せずに行った）、コロコンの駆動部とコロコンガイドに右手小指が挟まれ、挟まったバットを押すプッシャーの力が加わり切創した。	40	500 ~ 999
11	10~ 11	選果中、供給ラインでコンテナが止まっていたのを発見し、復旧するためベルトコンベアに手をついたところ動き出し右手をコンベアに巻き込まれた。	33	100 ~ 299
12	16~17	包装作業終了直前に、製品搬送ラインを越えて戻る際、製品搬送ラインで足を引っ掛けて転倒し、床にあったダンボール置き台に左脇腹を当て負傷した。	20	100 ~ 299
12	13~14	当社工場内において、コンベアの清掃作業を終え、コンベア本体の移動作業を行っていた際に、車輪が床面の段差に引っ掛かり、コンベア本体が転倒し、右足を挟まれ負傷した。	73	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html